

目 次

巻頭言	金沢大学附属病院	西 悦子	
特集1 「作業療法とQOL」			
.....	新潟医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科	能登 真一	1
特集2 「自閉症スペクトラム障害がある幼児から大学生への作業療法 ーライフステージにそった協働ー」			
.....	びわこリハビリテーション専門職大学 教授 名古屋大学	名誉教授 辛島千恵子	7
研究論文			
1. 超低出生体重児における哺乳障害の経過についての検討			
.....	金沢大学附属病院	西 悦子・他	13
実践報告			
1. 新たな生活様式で日課や役割の獲得, 運動ジムへの参加を図り社会的フレイルを予防できた事例 ～入院・フレイルドック・個別運動教室でのOTの関わり～			
.....	恵寿総合病院	五十嵐満哉・他	17
2. 膝痛の再燃リスクがある認知症高齢者への環境調整と自主練習定着への通所リハでの取り組み			
.....	能美市介護老人保健施設 はまなすの丘	明福真理子・他	23
3. 発達障害における奥能登での地域連携 ～多職種連携体制の構築に向けた作業療法士の取り組み～			
.....	市立輪島病院	大岩 瑞枝・他	29
投稿規定			37
執筆要領			38

巻頭言

金沢大学附属病院

西 悦子

第30回石川県作業療法学会を今年度、対面で開催でき、会員の皆様には感謝申し上げます。長引くコロナ禍で研修や学会はオンラインでの開催が主である中、今年度は数回学会に出かけた方もいたのではないのでしょうか。一方、行かなくなった研修会にはなかなか足が向かなくなり、研修会、オンラインの研修の参加者も少なくなっていると聞きます。世の中や作業療法士を取り巻く環境が変わっても臨床において患者さんをよくしよう、生活を豊にしようと言う思いは皆さんも変わっていないと思います。そのためには自分たちの技術を磨き、課題を追求していき、ステップアップしていきたいです。ステップアップのためには県士会のラダーを活用してみるのもひとつの策です。生涯教育においてステップをこなしていけば、皆さん認定作業療法士になれます。研究への取り組みは地道な臨床からです。お一人の職場でお困りの会員には学術部でのサポートも致します。ぜひ活用してください。

今回の学会では小児期から高齢者までの研究発表、症例報告、第30回の記念のシンポジウムでレジェンドの先生方より、熱いメッセージをいただきました。辛島先生、能登先生にも講演していただきました。たくさんの刺激を受け、病院や施設内での事例検討、支部活動を活用しながら石川県作業療法学会や東海北陸作業療法学会、日本作業療法学会で発表しましょう。そして論文です。援助してくれる人はたくさんいます。

ここまでやって作業療法を極めていきましょう。

編集後記

大観客で盛り上がった、カタールワールドカップ、3年ぶりに行動制限のない年末年始を過ごし、長引くパンデミックとの付き合い方が変化していると感じます。とはいえ、医療・介護領域では、病床も人員も逼迫し、なかなか感染対策を緩和できる状況にないのが現状です。そのような中、今年度の県学会は感染者数も落ち着いた7月に、会場参加とオンデマンド配信の形式で開催しました。講演、記念セッションでは、石川県に深い縁のある先生方がお話しください、また、3年ぶりの対面可能な学会ということもあり、会場は同窓会のような賑わいで、有意義な時間を過ごすことが出来ました。改めて、対面開催の良さを感じつつ、個人に合った多様な方法で、知識と時間を共有できることの素晴らしさを感じました。

さて、今年も無事に本刊の発行に至りました。ご投稿いただいた皆様、査読や編集にご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。今年度は、投稿数はやや少なめでしたが、内容の濃い論文が集まりました。学術部では引き続き、研究、発表サポート事業を行っておりますので、ご相談、学会誌へのご投稿をお待ちしております。

学術部担当理事	麦井 直樹 坂下美加代
学術誌編集委員長	堀江 翔
編集委員	中嶋 理帆 岡本 聡美 西 悦子 小林亜里沙 仁木 裕也 小松 瑞生 宮腰 真 佐藤ちさと 木田百合香 山本 紗季 菊池 ゆひ 高間 達也 米田美登里 大西 知江 薄井 菜子

石川県作業療法学術雑誌（第31巻 1号）（通巻31号）

2023年3月10日発行

編集 公益社団法人 石川県作業療法士会

発行所 公益社団法人 石川県作業療法士会

印刷 ヨシダ印刷株式会社